



リコチャレ応援団体・理工系女子応援ネットワーク

理工チャレンジの取組は、趣旨に賛同する産・学・官の団体が連携して進めています。



リコチャレ応援団体

理工チャレンジの趣旨に賛同する大学・企業・学術団体等

約 **890** 団体



理工系女子応援ネットワーク

リコチャレ応援団体のうち、具体的な取組・活動を行っている団体

約 **220** 団体



理工系女子応援ネットワーク会議

- 理工系女子応援ネットワークに登録した団体が出席
- 取組に関する情報共有を通じて相互連携を強化



STEM Girls Ambassadors

女子生徒等が、STEM 関連分野に興味関心を持ち、理工系分野への進路を自分自身の選択の一つとして前向きに捉えることを推進するため、2018年6月、「STEM Girls Ambassadors (理工系女子応援大使)」が立ち上げられました。

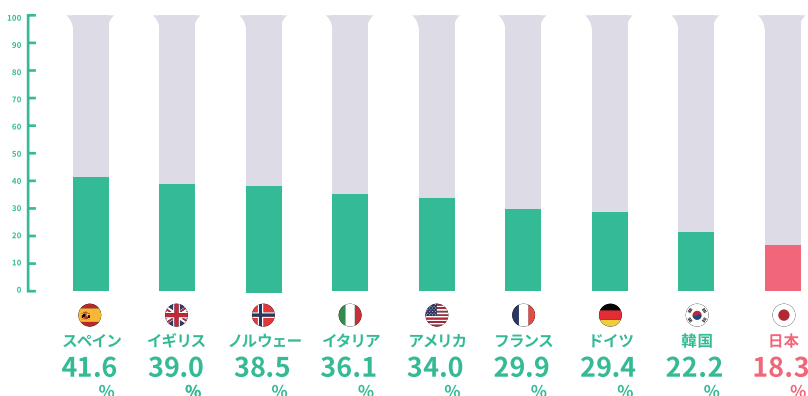


シンポジウム

- 有識者や実際に活躍する女性研究者・技術者（ロールモデル）による情報発信
- 関係団体と連携して開催するなど、社会の理解を促進



諸外国の研究者に占める女性割合



諸外国の研究者に占める女性割合は30%を超える国が増えてきており、それと比較すると日本は低い水準に留まっています。

(備考)  
1. 総務省「科学技術研究調査」(令和5年), OECD「Main Science and Technology Indicators」, 米国国立科学財団 (National Science Foundation: NSF) 「Science and Engineering Indicators」より作成。  
2. 日本の数値は、2023 (令和5) 年3月31日現在の値。アメリカ、イギリスは2019 (令和元) 年値。その他の国は、2020 (令和2) 年値。推定値及び暫定値を含む。  
3. アメリカの数値は、雇用されている科学者 (Scientists) における女性の割合 (人文科学の一部及び社会科学を含む)。  
4. 数値は2024年1月26日確認時点。